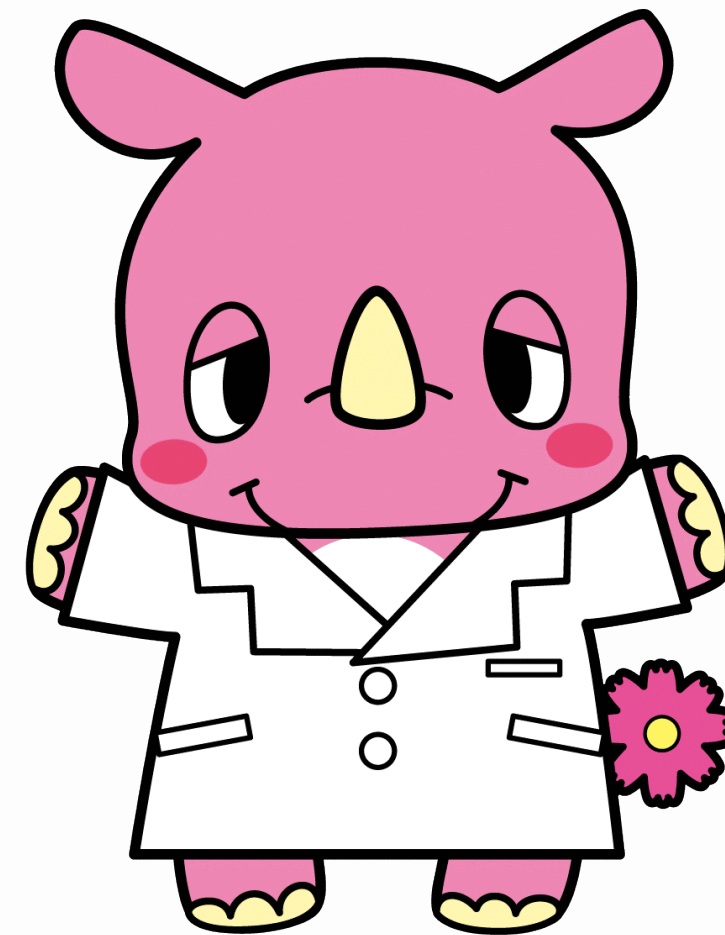


令和7年度第2回印西市国際化推進懇談会

# 外国人医療に関する 課題について



## 趣旨・目的

- ・ 印西市における外国人住民の医療に関する現状と課題を共有し地域としての理解を深める。
- ・ 市民/関係団体/行政が共に考え、市として今後の取り組みのヒントを得る。

# 現 状

印西市の外国人住民数：3,728人

印西市国籍数：72か国

## 上位10カ国

1.中国	1,230人	6.ネパール	168人
2.ベトナム	444人	7.米国	101人
3.韓国	280人	8.台湾	94人
4.スリランカ	252人	9.ミャンマー	80人
5.フィリピン	250人	10.パキスタン	61人

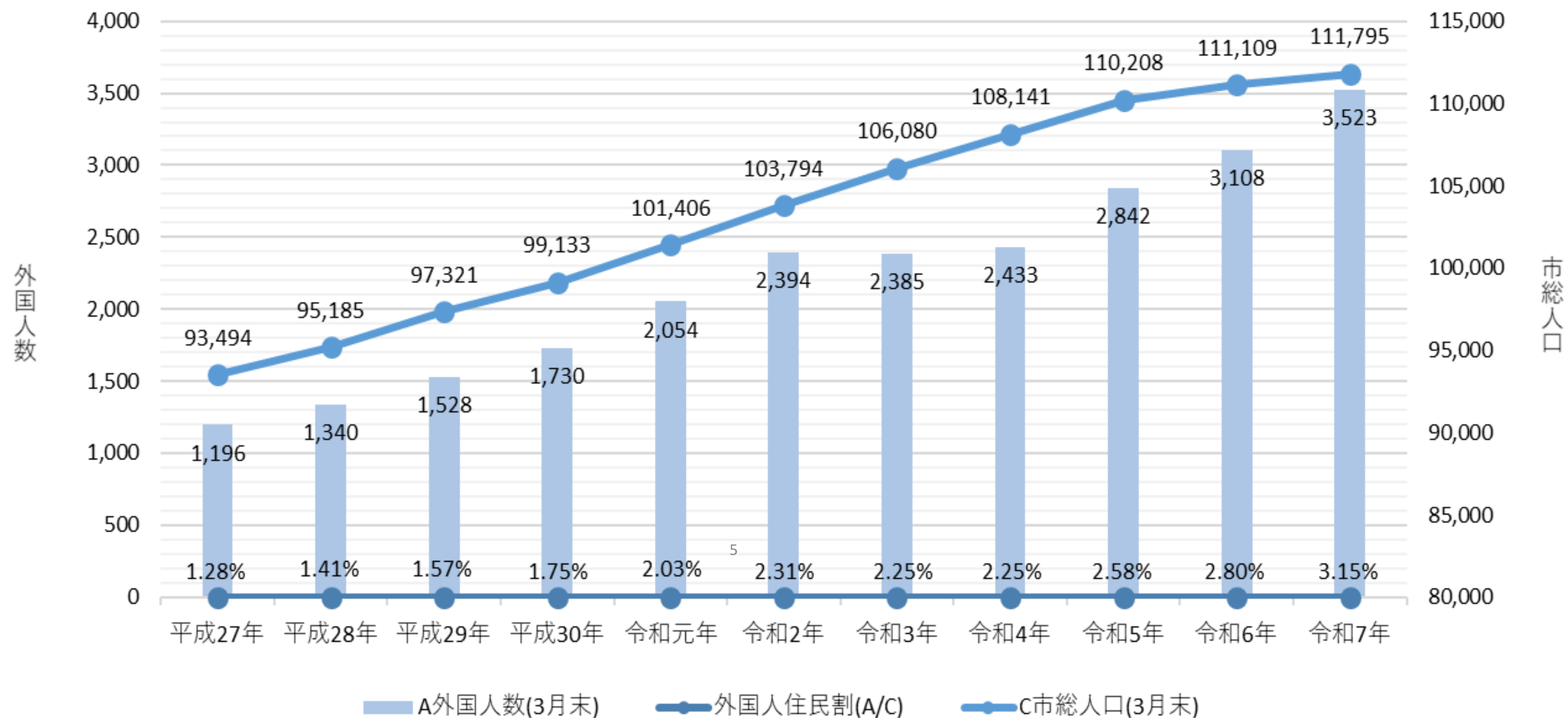
※数値は令和7年12月末日時点

## 在留資格別 上位

- ・ 永住者 1,336人
- ・ 技術/人文知識/国際業務 389人
- ・ 家族滞在 388人
- ・ 日本人の配偶者等 230人
- ・ 特定技能1号 216人
- ・ 技能実習1号□ 204人
- ・ 技能実習2号□ 193人
- ・ 留学 191人



# 外国人人口推移について



※数値は令和7年3月末日時点

# 想定される課題

## 言語の壁

- ペルシャ語、ダリー語、シンハラ語等
- 同伴者や機械翻訳ツールに頼る
- 安全な医療の提供が難しい
- 医療専門用語が伝わらない

## 文化・宗教的配慮

- 食事制限・治療方針の違い

## 保健・医療制度への理解不足

- 国民健康保険の加入状況
- 高額医療費制度の認知度

## 緊急時対応

- 救急搬送時の情報不足
- 災害時の医療情報



## 他県・市の事例

- ・ 医療に係るパンフレットなどの多言語化を情報提供
- ・ 健康診断など多言語での案内表示、問診票などの多言語化
- ・ ICTを用いた多言語アプリを活用
- ・ 夜間休日ワンストップ窓口（厚労省）の活用 ※個人からの相談は対象外
- ・ NPO団体と連携し 13言語 166名の医療通訳者による派遣体制の構築

# テーマ

## 医療機関利用時の困りごと

- ・外国人市民が病院に行くとき、不安なことや困ったこと（困っていること）  
例：言語、制度、費用、文化

## 情報発信や支援

- ・市からの情報発信はどんなことがあるといいか。  
例：多言語パンフレット、相談窓口、通訳サービス紹介

## 地域や市民の役割

- ・地域や市民がサポートできること  
例：ボランティア通訳、医療情報の周知